

令和8年度 前期開講科目と募集人員等について

開講科目	コース	開講曜日	学 習 内 容
地理 探究(1)	夜間	火後半 木前半	地球上で起きるさまざまな現象について理解を深め、相互の関連や自己とのつながりについて考えます。自然環境・資源と産業・人口などを系統地理的な視点から学び、今の世界がかかえる環境問題や食糧問題、資源・エネルギー問題、人口問題などについての理解を深めます。地球上で起こっているすべてのことが自分につながっていることを理解し、自分が生きている「世界」の見方を育みます。
世界史 探究(1)	午後	月前半 水後半	過去の出来事、世界と自分との関係を探るなかで、グローバルな視点の成り立ちを、時間的・空間的な広がりを持った様々な事象と関連づけて理解する力を養います。各地域について、原始・古代の文明や地域世界がそれぞれ発展していく過程と、諸地域が交流し、地球がひとつになっていく歴史を総合的に学習します。「現代の世界はどのようにできたのか」「世界の中の自分とはなにものか」を考えてみましょう。
数学Ⅰ(a)	午前	月前半 水後半	数学Ⅰ(a)では、「数と式」「2次関数」を学びます。
	午後 夜間		これらは高校数学で基本となる事項で、この先にある数学の基礎となる領域になります。
数学Ⅲ	午後	火前半 木後半 金前半	数学Ⅲは、数学Ⅱで習った内容をさらに深めて、「関数」「極限」「微分法」「微分法の応用」「積分法とその応用」を学習します。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bを履修済みの生徒が選択できる科目です。
数学A	午前	火後半 木前半	数学Aでは、「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」について学びます。これらは数学の基礎事項です。数学Ⅰの履修後か、同時に履修してください。
	午後		
科学と 人間生活	午前	水前半 金後半	理科の4領域(物理、化学、生物、地学)について、日常生活に結びつきの強い分野を中心にやさしく学べる科目です。
	午後 夜間		
物理基礎	午前	火後半 木前半	物理基礎を履修する前に『数学Ⅰを修得すること』を推奨します。数学で学ぶ「因数分解」「平方根」「有理化」「連立方程式」「三角比」を用いた問題演習に取り組みます。
	午後	火前半 木後半	物体の運動と様々なエネルギー(運動の表し方、力とそれはたらき、力学的エネルギー、熱、波、音)に関わる基礎的な内容を、日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究する力と態度を身につ
	夜間	火後半 木前半	細胞、遺伝子、免疫、生態系など生命のしくみや生物どうしの関わりについて、視聴覚教材や実験・オンライン課題なども交えながら学習します。
地学基礎	午前	火前半 木後半	地球や地球を取り巻く環境に関わり、現在の地球の構造や活動および惑星としての地球の変動の様子を、視聴覚教材や実験・オンライン課題なども交えながら学習し、自然環境の保全の重要性について考えます。
	午後		
化学(1)	午後	火後半 木前半	物質の状態、化学反応とエネルギー、化学反応の速さと平衡について、「化学基礎」で学習した基礎的な知識を土台として、発展的な学習をします。
生物(1)	午後	火前半 木後半	生物の進化、専門家と物質、遺伝情報の元究に元究について、「生物基礎」で学習した基礎的な知識を土台として、発展的な学習をします。
開講曜日に 対応する開 講時間	午前前半 1・2 校時	8:35~10:05	午前後半 3・4 校時 10:25~11:55
	午後前半 5・6 校時	13:30~15:00	午後後半 7・8 校時 15:20~16:50
	夜間前半 9・10 校時	17:50~19:20	夜間後半 11・12 校時 19:40~21:10

開講科目に(a)や(1)と付いた科目は、後期開講の(b)もしくは(2)を合わせて「科目名」の履修・修得になります。

各講座募集人員は若干名となりなす。